

3月5日の本会議において予算常任委員会に付託を受けました、議案第19号について、3月9日に開催した委員会の審査結果を報告します。

主な質疑は次のとおりです。

外国人相談窓口設置事業は国の交付金が財源となっているが持続可能なのかとの質疑に対して、国の交付金がなくなった場合はWeb会議システムについては利用状況に応じて利用料等の見直し、また有料の翻訳アプリを無料のものに変えるなど内容は見直していきたいとの答弁でした。

会計年度任用職員に係る予算が減額になっており、前年度の臨時職員の人数に変化はあるのかとの質疑に対して、令和元年度の臨時職員・嘱託職員は404人、令和2年度の予定は、会計年度任用職員は257人で、147人の減となっている。その内、136人が保育園・幼稚園・こども園等の再編による人数減であるとの答弁でした。

三雲駅および甲西駅の周辺整備について、放置自転車のトラブルは発生していないかとの質疑に対し、平成30年度の放置自転車の撤去数は約110件だったが、最初に徹底した事もあり今年度は激減している。また、見回りの回数も減っているとの答弁でした。甲西中央橋の修繕工事の規模についての質疑に対して、橋梁部全体の修繕を単年度で進めて行くとの答弁でした。

総合体育館の照明設備に関する予算について、国体開催に向けてどの様に準備を進めるのかとの質疑に対して、令和2年度は非常用照明・自家発電設備改修工事の設計業務を委託し、令和3年度に改修予定。また、トイレのバリアフリー化についての補助金を調べている段階だとの答弁でした。

3月5日の本会議で否決とした議案第7号に関連する予算の内訳についての質疑に対して、予算の内訳は、人件費84万円、賃金19万円、消耗品費6万円、燃料費93万円、光熱費148万円、修繕料14万円、委託料859万円、使用料及び賃借料3万円、以上で1,226万円、そして賄材料費1,764万円という答弁でした。4月から民間に移行する園に給食を提供するためには、どのような方法があるのかとの質疑に対し、民間の給食業者から提供する方法となるが、今後、市幹部とも協議をしなければいけないが3月議会定例会終了後、議会において再度審議をしていただけないかと考えているとの答弁でした。再度審議をするとした場合、期限はいつ頃かとの質疑に対して、3月中であるとの答弁でした。

質疑のあと、議案第7号の関連予算について、予算案を修正するか否かについて議員間で自由討議を行いました。

主な内容は次のとおりです。

否決した議案第7号の関連予算が入っている当初予算については、本来なら予算の修正で対応するのが原則ではあるが、平成30年3月議会定例会において、予算に関連する条例が否決となったが、その際には当初予算での修正はせず、6月議会定例会の補正予算で減額した事例もある。また、今予算では給食費の諸収入が歳入に上がっており、予算の総額を下げなければいけないので、そこまでの予算修正には踏み込まない方が良く考える。予算は修正せず原案のままとし、条例の問題はその後に委ねるべきである。

ただし、多くの議員が、子どもたちに給食を提供することを望んでいるので、4月から子どもたちに給食を提供できるよう、条例の否決原因の解決に努力し、議会と共になって、より良い方策を見出すべきである。などの発言がありました。

自由討議のあと、反対討論として、正規職員の増員と残業時間の格差をなくし、健康管理とモチベーションを引き上げる予算措置が必要である。同和関連の予算、指定管理者制度の施設を見直すべき。そして保育園の民営化については待機児童を失くし、公立で運営する大切さを認識するべき。また子育て支援として、全ての子ども達の中学校卒業までの医療費助成を早急に行うべきだと考え、反対するとのことでした。

賛成討論として、当初予算には否決された議案第7号の条例改正案に関連する予算が含まれているが、4月からすべての子ども達に給食を提供できるような意味合いも込めて賛成とするとのことでした。

採決の結果、議案第19号 令和2年度湖南市一般会計予算については、賛成多数で原案どおり可決すべきものと決定しました。